

金太郎と創る新生「稲敷」の会では、大塚のりあき氏と共に、
活力ある稲敷市を目指し活動しています。
大塚のりあき氏の経歴と政策を紹介します。

稲敷の可能性をもっと大きく！

大塚のりあき　プロフィール



昭和52年	茨城県立江戸崎高等学校卒業後、家業に精を出す
平成 3年	株式会社 アサヒヤ設立後、実業家として活躍
平成26年	農業組合法人 サンウォーター設立
平成28年	一般社団法人日本農業国際交流協会理事
令和 4年	稲敷市商工会副会長
令和 4年	NPO法人 茨城県ベトナム友好協会理事
令和 6年	稲敷ＪＡ理事

- 稲敷市生まれ・稲敷市育ち
- 家業の農業に従事
- 東京電力からの依頼による福島第二原子力発電所の処理水除去作業に従事
- 国内外の展示会に参加し、日本の農産物の魅力を発信
- 農業・エネルギー・地域経済の発展にむけて活動中

- 家族：妻、長男夫婦、孫3人、母との7人家族
- 趣味：草むしりと野菜作り
- 好きな食べ物：お米
- 尊敬する人：田中角栄元首相
- 座右の銘：温故知新

発行：金太郎と創る新生「稲敷」の会　〒300-1412　稲敷市柴崎8383-2
0297-87-5800　otsuka.noriaki.inashiki@gmail.com



今の稲敷市は低迷している！

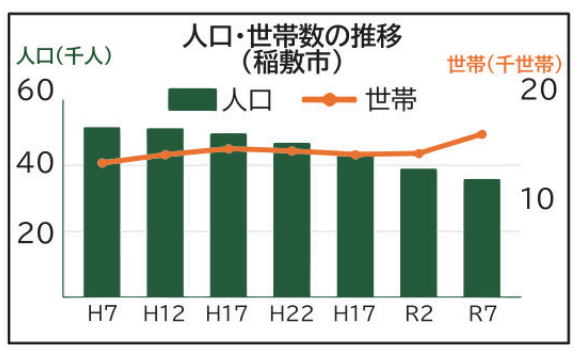
このままでは消滅自治体になりかねない！

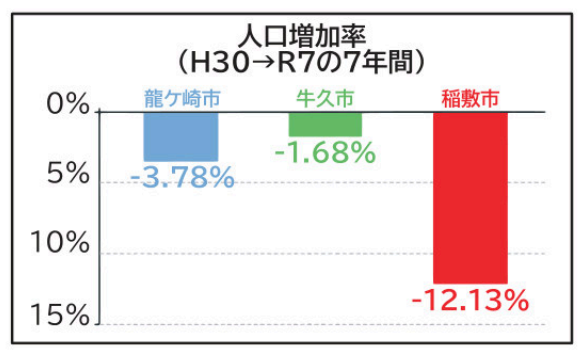
金太郎とつくる新生「稲敷」の会では、稲敷市の現状を分析し、これからも暮らし続けられる稲敷市をめざす政策を提案していきます

低迷稲敷市 ① 稲敷市の人口減少が止まらない

稲敷市の人口は平成7年の5万人をピークに減少の一途をたどっています。

特に、平成30年以降の減少割合は、近隣の龍ケ崎市、牛久市に比べても高くなっており、人口減少を食い止めるための政策が必要です。



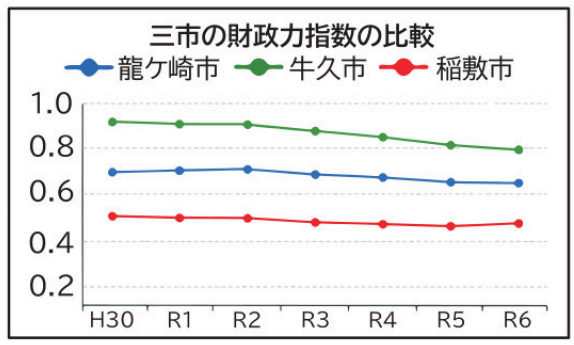


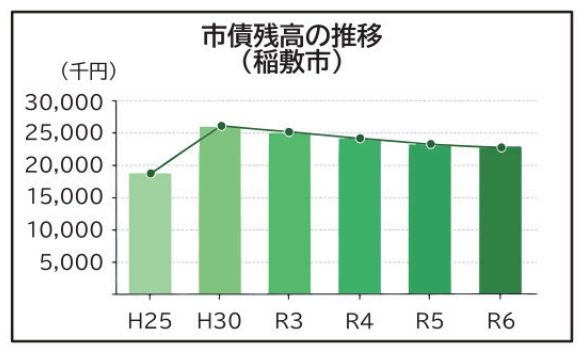
低迷稲敷市 ② 稲敷市の財政がピンチ！

稲敷市がこれまで通りの住民サービスを提供していくためには、何より財政の健全性が重要です。

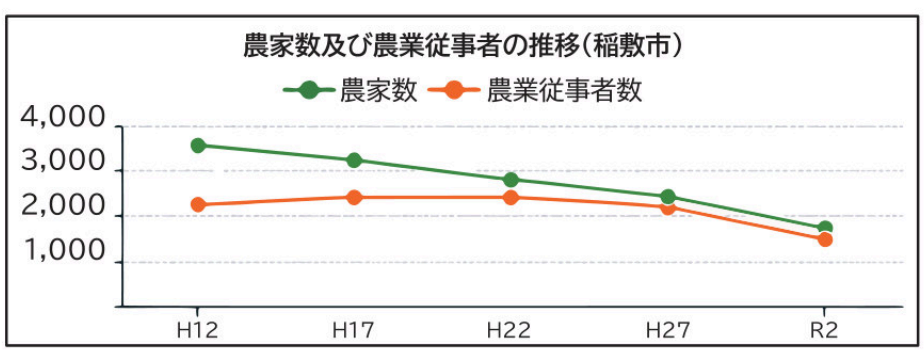
にもかかわらず、市の借金である市債は高止まり、財政力は低迷を続けています。

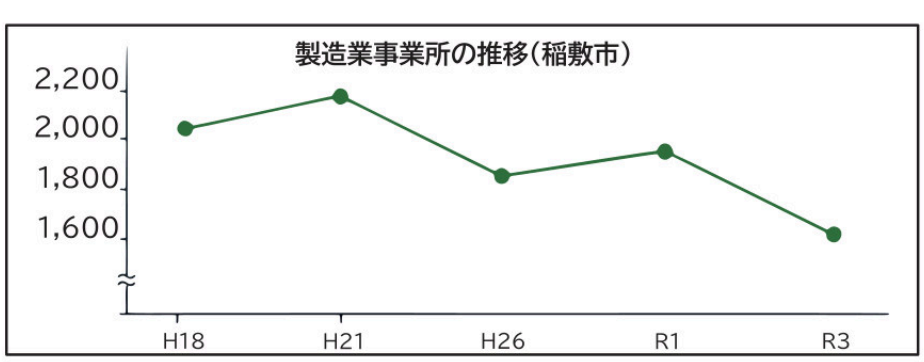
財政力指数では、県内で下から数えて10番目なのが現実です。





低迷稲敷市 ③ 稲敷の経済・活力が低迷！





稲敷市経済の中心である工業と農業の現状を分析すると、農家も事業所も減少しています。

稲敷市は市内に鉄道駅が存在しません。

稲敷インターチェンジ、稲敷東インターチェンジという強みを活かし、現在の工業団地への企業誘致を進め、遊休農地を活用する政策を進める必要があります。

また、農産物のブランド化作戦も重要です。

もっと詳しい情報はこちらから

公式ウェブサイト　公式Xアカウント　公式YouTube